

授業科目名	乳児保育 I	教員名	小川 美由紀 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	選択
					幼稚園教諭	選択
					保育士	必修
					こども音楽療育士	
科目番号	FOI102	配当年次	1年後期	情報処理士		
授業形態	演習					
単位数	2単位					
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示された、乳児保育に関する専門的な知識や技能を学ぶ。0・1・2歳児の発達や、生活・遊びの過程を理解し、職員間の連携・協働等を活かした具体的な体制を想定した保育を構想する方法を身につける。					
到達目標	(1) 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及びその役割等について理解する。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	乳児保育の役割と機能を知り、乳児保育を学ぶ意義について理解する。乳児保育の理念や「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における乳児保育の概要として、0歳児保育の3つの視点と、1・2歳児保育の5領域、3歳以上児保育の5領域の関連性について学ぶ。 また0～3歳ごろの発育・発達の目安を知り、関わりの留意点について知る。 さらに保育所・認定こども園における乳児保育と、保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育について調査学習及びプレゼンテーションを行い、知識の共有を図る。 実践的な学びとしては、乳児保育における保護者支援の演習や0～2歳児が遊ぶ姿の観察、乳児保育における物的環境と人的環境、保育の体制等についての理解を深める。これまでの現場経験から、子ども理解を深めるための対話の機会を設けたり、経験談を踏まえた助言や提案、映像などを用いたりして、0・1・2歳児の保育のイメージを深める。					
履修条件・注意事項						
授業計画	第1回：オリエンテーション／乳児保育とは何か (1) 乳児保育の役割と機能を知り、乳児保育 I の授業目標と意義について概説する。 第2回：乳児保育の歴史と理念 (1) 乳児保育の歴史の変遷と「児童福祉法」における乳児保育の理念について説明する。 第3回：「保育所保育指針」における乳児保育の概要 (2) 「保育所保育指針」における乳児保育の概要について解説する。 第4回：「養護に関する基本的事項」と乳児保育の基礎知識1 (2)(3) 養護における基本的事項から、「子どもの主体性を尊重する乳児保育」について概説する。また、0歳児保育の3つの視点と、1・2歳児保育、3歳以上児保育の5領域の関連について説明する。 第5回：6ヶ月未満の子どもの育ちとあそび (3) 6ヶ月未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について解説する。 第6回：6ヶ月以上1歳未満の子どもの育ちとあそび (3) 6ヶ月以上1歳未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について解説する。 第7回：1歳以上2歳未満の子どもの育ちとあそび (3) 1歳以上2歳未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について解説する。 第8回：2歳～3歳の子どもの育ちとあそび (3) 2歳から3歳の育ちの特徴と関わりの留意点について解説する。					

	<p>第9回：移行期の子どもへの関わり (3) 主に3歳以降の育ちの特徴と、移行期の関わりでの留意点について解説する。</p> <p>第10回：乳児保育の基礎知識3 (3)(4) 2つの発達理論保育の実施における配慮事項と、特別な配慮が必要な子どもへの支援について説明する。</p> <p>第11回：保育所・認定こども園における乳児保育 (2) 乳児保育における物的環境と人的環境、保育の体制について説明する。</p> <p>第12回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育1 (2) 乳児院及び家庭的保育事業、その他の保育事業における乳児保育の現状と課題をグループで調べる。</p> <p>第13回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育2 (2) 発表準備を進める。準備が整っているグループから発表し、情報の共有を行う。</p> <p>第14回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育3 (2) 発表を通して情報の共有を行うことで、乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場について概説する。</p> <p>第15回：乳児保育における保護者支援／「乳児保育Ⅰ」のまとめ (4) 乳児保育に必要な保護者との連携・連絡方法について解説する。</p> <p>学期末試験</p>
授業外学習時間の確保について	◎提出課題・スタディノート：講義の内容に対応した課題またはスタディノートを適宜配付する。予習として取り組んだ場合には、不明な点等を明確にしておく。また演習の内容について自分なりに復習し、提出期日までに理解しておく。
学生に対する評価	<p>試験50%、グループ発表・課題提出30%、ワークシート・授業外学習20%をもとに総合的に評価する。なお、授業外学習等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・回答例を配付する。
テキスト	「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」後藤由美・菊地篤子（中山書店） ISBN番号 978-4-521-75114-6
参考書・参考資料等	「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「乳児保育 演習ブック〔第2版〕」松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房 「乳児の保育 新時代」乳児保育研究会
担当者からのメッセージ	0・1・2歳児の時期は、人格形成の基礎を培ううえで、もっとも重要な時期とされています。乳児保育を学び知識を深め、0・1・2歳児の世界を知り、子ども理解と一緒に深めていきましょう！
オフィスアワー	毎週月曜日14：00～17：00、木曜日14：00～17：00、金曜日10：00～15：00 Email：mogawa@miu.ac.jp
備考	・保育者歴20年の経験と母親としての子育て経験を活かし、赤ちゃんや小さい子どもの姿をイメージできるよう、動画や現場の写真などを用いながら授業を行います。また、子どもの人権を擁護することの重要性や子どもが主体となる保育に必要な保育環境の視点について、宮崎学園短期大学附属園の実践事例をもとに、対話をしたり、考えたりしていきます。子どもを丁寧に見ていくことの大切さと、子どもの世界の面白さを味わっていただけるような学びの場を共に作っていきましょう。